



Harenowa Magazine



—— さあ行こう、創造の世界へ

[特集1] インタビュー

祝・おかしい100歳

『父帰るハウス』が問う、生きる希望をくれるものとは  
菅原 直樹[作・演出]

■ 特集2 インタビュー

彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd

現代を問う悲劇『リア王』が岡山に 67歳・吉田鋼太郎の挑戦

■ 特集3 ミュージカル特集

カラフルな音楽、エネルギッシュな歌声で  
勇気と希望を届けるミュージカル

# 祝・おかしい100歳 『父帰るハウス』が問う、 生きる希望をくれるものとは

interviewee 菅原 直樹 [作・演出]



2014年6月にOi Bokke Shi を結成し、活動第一弾として、老いと演劇のワークショップをやったのですが、岡田さんがそこに参加してくれたのがきっかけです。1時間半前ぐらいに会場にやってきて、一番乗りでした。当時岡田さんは88歳。認知症の奥さんを自宅で介護していました。新聞の告知を読んで、バスと電車を乗り継いで1時間半ぐらいかけて来てくれました。

参加者の中でも群を抜いて高齢でしたし、耳が遠そうで、最初は「ワークショップやれるかな？」という不安がありました。でも、最後にみんなで発表をしたのですが、その時の岡田さんがすごくいい演技をされたんです。もう台本そっちのけで、アドリブしか言わないので、周りの共演者たちは困っていましたが、それも面白かった。

— Oi Bokke Shiの看板俳優・おかしいと菅原さんが出会ってから、今年で12年になります。出会いはどんなきっかけだったのでしょうか。

「老いと演劇」をテーマに、全国でワークショップや公演を続けるOi Bokke Shiの菅原直樹さん。新作『父帰るハウス』に込めた「会いたい人に会えること」の大切さと、100歳を迎えてなお新たな舞台に挑む看板俳優の「おかしい」こと岡田忠雄さんへの思いをお聞きました。



聞き手 | 守安 涼 / 構成 | 黒部 麻子

## CONTENTS

- 3 特集1 インタビュー  
祝・おかしい100歳  
『父帰るハウス』が問う、生きる希望をくれるものとは  
菅原 直樹 [作・演出]
- 6 特集2 インタビュー  
彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd  
現代を問う悲劇『リア王』が岡山に  
67歳・吉田鋼太郎の挑戦
- 8 特集3 ミュージカル特集  
カラフルな音楽、エネルギッシュな歌声で  
勇気と希望を届けるミュージカル
- 10 ハレノワダイアログ [第9回]  
岡山生まれの歌人の原点と31音から広がる世界  
話し手：歌人 大森 静佳
- 12 散策 オモテ帖 [10]  
商店街に並ぶ、個性豊かな街の本屋
- 13 イベント開催レポート
- 14 主催事業のご紹介・チケット購入案内





撮影：富岡菜々子

岡田さんは定年退職後、映画俳優を目指して、数々の映画オーディションを受けてきたそうです。今村昌平監督の作品にもエキストラで出演したことがあると。演技が大好きで、認知症の奥さんを介護している。まさに老いと演劇を体現している人だなと思いました。

——舞台上で賭ける岡田さんの情熱は、

と思います。リスク回避や効率を優先するあまり、文化や心の健康がながしるにされがちですが、文化に触れることで生きる気力につながる。その大切さを、僕は演劇を通じて伝えられたらなと思っています。岡田さんもこの活動をずっと続けてもらって、最後の最後まで、舞台上でお客様に感動を与え続けてほしいです。

——『父帰るハウス』公演の後には、おかし100歳を祝う会もありますね。

詳細はまだ決まっていますが、これまでの作品の名場面コラージュや、おかし100歳の人生紙芝居みたいなのをやれたらなと考えています。小学生の時に演劇に目覚めたエピソードを岡田さんに再現してもらったり。あと、高齢者と演劇に関する研究発表もやりたい。岡田さんが演劇を続けてきて、100歳になってもこうして活動していることが、すごくウェルビーイングに影響しているだろうというのは、現場感覚では確信しているのですが、科学的なエビデンスを出せたら面白いかなと思っています。

——どんな人に見に来てほしいですか？

『父帰るハウス』は、高齢の方も、若い方も、誰が見ても楽しめる作品にしようと思っています。おかし100歳の魅力もすごく

原さんも感じますか？

はい。岡田さんは、僕がちよっとボールを投げたら、すごい勢いでホームランを打ってくれるような人なんです。僕も出会った時に「この人だな」と思ったんですよ。その後日、電話をかけた。「ワークショップには来てくれたけど、一緒に芝居までやってくれるかな」と思いなが



生涯現役、舞台はのち!

出てくると思いますし、他の出演者も、演劇をずっとやってきた人もいれば、介護や老いに関心があったりこの活動に参加して、初めて演劇に挑戦する人もいます。OiBokkeShiは、生活と演劇が混じり合う活動なので、演劇を見たことがない方にも、興味を持っていただ

けたらうれしいです。芝居を見ながら、自分の将来の老いや、大切な人との関わりについて、考えてもらえたらいいですね。

ら電話をかけたなら、岡田さんは開口一番「これはオーディションに受かったということですか!」と。「違うんだけど、まあ、そういうことです」って。それが始まりでした。今もそうですね。もう歩けなくなって車いす生活になり、自宅生活からサービス付き高齢者住宅に移りましたが、旅公演の話が来た時に、僕は難しいかなと思っても、岡田さんは「這ってでも行く」と言って、すごく応援してくれるんです。一番不安なのは岡田さんだと思うんですよ。自分の状態をよくわかっていますから。でも芝居になるとエネルギーが湧いてくる。本当にすごいなと思いますし、それに支えられてOiBokkeShiは今までやってこれたのだと思います。

——今回の『父帰るハウス』は、施設での「面会制限」がテーマですね。

実は僕自身もこの一年で、母親の介護が必要になり、家族介護者になりました。母はまだ75歳ですが、難病を患って、できないことが増えてきて。最初は自宅で何とか同居していたのですが、コロナに感染して入院になり、歩けなくなりましたので、老人保健施設に入ることにしたんです。そして、面会が月に2回だけで、1回30分という、厳しい制限がある。コロナ禍から6年経って、世の中はだいぶ正常に戻りつつある中、医療・介護の

現場では、今も面会制限が続いています。しかも、2025年12月にインフルエンザ警報が出てからは、もう一切会えなくなりまし。難病で、どんなにできないことが増えてきている中、今は大切な時期なんですよ。最終的には言葉を話すことができなくなって、ボードでイエス・ノーの意思表示をする状態になる。今はまだ話せるのに、3カ月も全く会えない。僕はこのことをずっと考えています。だから自然と、作品のテーマも面会制限になりました。

岡田さんは、介護が必要になっても、病気を患っても、人と出会って演劇をすることで表現を楽しんでいる。岡田さんだけでなく、みんなそうです。僕らはお年寄りが病院や介護施設に入ってしまうと、「あの人はもう病人なんだ」とか、「介護が必要なんだ」という目で見て、壁を作ってしまう。でも実際に会ってみると、心は変わらず若かったりするんです。人と交流したり、好きなことをすることで、目標ができて、「よし、もうちょっと頑張ってみよう」という気持ちになる。でも面会制限が続いたら、気持ちは沈んじゃうし、会えない間に寝たきりになったり、認知症を発症したりしてしまう。これは悲しいですよ。日本はこれからもっと超高齢社会になりますが、豊かに生きるために重要なのは、老いて病気を患っても介護が必要になっても、会いたい人に会って、これまで大切にしてきた活動を続けるということだ

すがわら なおき 菅原直樹

劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。1983年栃木県宇都宮出身。桜美林大学文学部総合文化学科卒。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2014年に岡山県で「老いと演劇」OiBokkeShiを設立し、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクトなど、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数実施している。平成30年度(第69回)芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。

おかだ ただお 岡田忠雄

1926年高松市生まれ。俳優。定年退職後は長年の夢であった俳優を志し、今村昌平監督『黒い雨』『ガンゾー先生』等にエキストラとして出演。2014年、認知症の妻とのコミュニケーションに悩み「老いと演劇のワークショップ」に参加。現在は入所している施設で稽古に励んでいる。主な出演作品『ポータブルトレシアター』、『レクリエーション葬』、『恋はみずいろ』。

「老いと演劇」OiBokkeShi

『父帰るハウス』  
5月5日(祝)・6日(祝) 両日14:00開演 小劇場  
作・演出▶菅原直樹  
出演▶岡田忠雄 ほか

『舞台はのち! ~おかし100歳を祝う会~』

5月17日(土) 14:00開演 アートサロン  
出演▶岡田忠雄、菅原直樹 ほか

公演詳細・チケット購入はP15へ



よしだ こうたろう  
吉田 鋼太郎

1959年、東京都出身。1997年に劇団AUNを旗揚げ。演出も手がける。蜷川幸雄演出のシェイクスピア作品に多数出演。2016年、彩の国シェイクスピア・シリーズ2代目芸術監督に就任。一昨年の『ハムレット』に続き昨年5月には彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd第二作として『マクベス』の演出・上演台本・出演を務めた。その他出演作に、ドラマ『おいハンサム!!2』、連続テレビ小説『あんぱん』、『ヤンドク!』映画『ショウタイムセブン』、『事故物件ゾク恐い間取り』などがある。

# 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd 現代を問う悲劇 『リア王』が岡山に 67歳・吉田鋼太郎の挑戦

取材・文 | 橘 春花

—— 蜷川幸雄さんの遺志を受け継ぎ、前シリーズを完走させた後、2024年に吉田さんが立ち上げた「彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd」。柿澤勇人さん主演の『ハムレット』、藤原竜也さん主演の『マクベス』に続き、今年、満を持して吉田さんご自身が主演を務めるのがシリーズ第3弾の『リア王』です。シェイクスピア作品では9年ぶりの主演ということで、まずはタイトルロールに懸ける意気込みをお願いします。

吉田 タイトルロールというのは常に挑戦です。戯曲のなかでリアの実年齢は80代の設定ですが、実際に80代でこの役を演じるには無理がある。業界でも70代がベストだと言われるなかで、僕自身、70歳を目前にした今の年齢、今のコンディションでどこまでできるのかを確かめてみたいと思っています。

—— これまでにリアを2度演じられていますが、違いを感じることはありますか？

吉田 前回演じた時は40代だったので、自分の声に「まだ若い」と感じていました。けれど、今は老人としての違和感は昔ほどなくなっているので、むしろありがた

染みのある作品ではありません。しかし4作品のなかでは、高齢化社会という点で現代に境遇が最も似ています。「老い」を見直す作品でもあり、人間の本当に悪い部分を遠慮なく描いているので、そこは存分に味わっていただきたいですね。

—— 最後に岡山の皆さんにメッセージをお願いします。

吉田 若い頃、公演で岡山には何度か行ったことがあるんです。もう閉店しましたが、演劇人におなじみの居酒屋はよく覚えてます。とにかく食べ物がおいしい。そして土地も人もいい、とっても大好きなまちです。ようやくハレノワの舞台に立てることも楽しみです。風光明媚で温かく平和な土地で、人間のダークさを存分に見つめてみてください。

いです。この作品は前半から嵐に遭うまでの怒りが常軌を逸していないと成立しません。これを老人に設定するあたりがシェイクスピアのすごいところで、ただ大きな声で怒鳴ればいいのではなく、老人が振り絞った声であることに意味がある。日常の感覚では到達できない、国全体がひれ伏すような怒りが肝になるだろうと思っています。

—— リアは王であり、父であり、そして老いていく一人の人間でもあります。吉田さんがもっとも意識しているのはどの側面でしょうか？

吉田 これまで、数々の『リア王』が上演され、現代に置き換えられた作品が多くみられました。身近に感じてもらうための手段だと思うのですが、僕の思う『リア王』で大事なことは、リアが「王」であること。王が冠も服もはぎとられ、丸裸になっていく。特にイギリスでは絶対的な象徴である王が、発狂しながら無残な姿になるわけですから、そのショッキングさ、怖さがなければ成立しません。とにかく、リアは「王」でなければならないと考えています。

—— 今回、演出を依頼されたのは劇作家・演出家の長塚圭史さん。どんなことを期待しますか？

吉田 長塚君は人間の闇を抽出して描くのがすごく上手なんです。物語のなかでは、私生児が自分の生い立ちによって財産が得られないという不条理さに怒りを抱き、悪事を始める。リアの娘たちもリアを拒絶します。つまり人間のダークな部分が次から次へと浮き出してくる。ただ、それは物語の世界だけではなく、我々の身近でも起こりうること。そのリアルさとともに、人間のダークさを描いてくれるのではないかと思います。

—— 吉田さんが新シリーズで掲げている「より理解しやすいシェイクスピア演劇を届ける」という想いもエッセンスとして加わるのでしょうか？

吉田 子どもからお年寄りまで喜んでもらうという理念は崩さず、さらに新しい風を少し吹かせたいと考えています。ですから、これまで蜷川さんから受け継いできた一つの様式みたいなものはちよつとだけ壊してもいいのかなとは思っています。特に「理解しやすい」というのは、よりリアルであることに通ずると思います。だから、決しておとぎ話ではないリアルさを長塚君には強調してもらいたいですね。

—— 今回、エドガー役は藤原竜也さん、ゴネリル役は石原さとみさんが抜擢されました。吉田さんがお二人をキャストイングした理由を伺えますか？

吉田 エドガーは本音をさらけ出し、むき出しになって演じる役です。繕ったり、かつこついたりすると通用しない。そういう役を竜也にやってもらいたいという想いがありました。さとみちゃんはシェイクスピア作品への出演は多くないですが、彼女の話す台詞はとってもリアルで、いい意味でシェイクスピアに毒されていない。現代の言葉として冷たい台詞を言い放てる力は、ゴネリルに必要だと感じたので、彼女にお願いしました。

—— 観客の皆さんには、今回の舞台をどんなふうに鑑賞してほしいですか？

吉田 『リア王』はシェイクスピアの四大悲劇のひとつですが、それほど多くの人に馴染



2024年5月『ハムレット』(彩の国さいたま芸術劇場大ホール) 撮影:宮川舞子

彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd Vol.3

『リア王』

6月25日 14:00開演  
26日 12:30開演 / 18:00開演  
27日 13:30開演

大劇場

作 ▶ W.シェイクスピア

演出 ▶ 長塚圭史 翻訳 ▶ 小田島雄志

出演 ▶ 吉田鋼太郎、石原さとみ、松岡依都美、矢崎広、吉田美月喜、山内圭哉、山西惇、藤原竜也、ほか

公演詳細・チケット購入はP14へ

# カラフルな音楽、 エネルギッシュな歌声で 勇気と希望を届ける ミュージカル

演劇ライター 上野紀子

『ライオンキング』の作詞を手がけたティム・ライスと、『キャッツ』『オペラ座の怪人』の名曲たちを生み出した巨匠アンドリュー・ロイド・ウェバー。この黄金コンビによる傑作として名高いのは『ジーザス・クライスト・スーパースター』だが、まだ20代の学生だった二人が『ジーザス』の前に創り上げた、二人の原点といわれるミュージカルが『ジョセフ・アンド・アメージング・テクニカラー・ドリームコート』だ。もとは学校公演のために創られた本作は、後にウエストエンドとブロードウェイでのロングラン公演、さらに世界80カ国以上のツアー公演にまで発展。同時にアマチュア劇団や学校でも頻繁に上演され、今もファミリーミュージカルとして老若男女に親しまれ続けている名作である。

旧約聖書「創世記」の「ジョセフの物語」をベースに、父から贖身されたために兄弟たちに妬まれ、奴隷として売られて数奇な運命をたどるジョセフの半ありである。自分自身の良さを出してジョセフを表現していきたい」

言葉通りに緩やかな空気を纏ってステージ中央に立った藪の、透き通るように素直な歌声、スラリと伸びた端正な体軀は、誠実で利発なジョセフそのものを表していた。シルビア・グラブを始めとする巧者たちの庄巻の美声が飛び交う中にも、藪・ジョセフの華ある立ち姿が目が行ってしまう。父ジェイコブが12人兄弟の中でジョセフばかりを可愛がるのも「そりやそうよね」と大納得、父に与えられた色取り

生が描かれてゆく。この舞台の大きな魅力はオペラ形式と呼ばれる、全編を「ドリームコート」のごとくカラフルな音楽で歌いつないでいくところにある。ロック、バラード、シャンソン、カントリー、ロカビリー、カリブソなど、さまざまなジャンルの楽曲がジョセフの波瀾万丈の生きざまを彩るようにして駆け巡る。個性豊かなキャラクターたちの歌声に乗って次々に繰り出される驚きの展開に、観客は興奮のまま引き込まれるばかり。子どもも大人も夢中になるオモチャ箱、そんな心地よい刺激に満ちた舞台なのだ。

取りのドリームコートも着こなし満点の存在感である。追放され奴隷となっても、持ち前の機知で主人の信頼を獲得。なのに主人の妻に言い寄られてしまつて再びどん底に。アップダウンの激しいジョセフの人生を、藪がひたむきに、かつ爽やかに魅せていく。そして最後、観る者の胸に響くのは「相手を赦す」尊さだ。多彩な音楽、パワフルなダンスに快く身を委ねるうちに、希望、そして人を思いやる気持ち湧き上がる、多幸感あふれる観劇体験である。

初演時、藪は「僕が主演でなくても、この作品が

待望の日本初演が動き出したのは2020年で、ミュージカル『GHOST』などで高い評価を得てい



藪宏太



左から橋本良亮、藪宏太



ミュージカル  
『ジョセフ・アンド・アメージング・  
テクニカラー・ドリームコート』  
7月4日◎17:30開演・5日◎14:00開演  
大劇場  
作詞▶ティム・ライス  
作曲▶アンドリュー・ロイド・ウェバー  
演出▶ダレン・ヤップ  
出演▶藪宏太、  
シルビア・グラブ/清水美依紗【Wキャスト】、  
橋本良亮 ほか

公演詳細・チケット購入はP14へ

日本に根付いて何度も再演されるようになればいいな」とも語っていた。4年ぶりに帰って来た今回の再演は、メインキャストを含めてほぼ顔ぶれを一新。その中で、作品の支柱ともいえるシルビア・グラブのナレーター続投が嬉しく、またダブルキャストでナレーターを担う清水美依紗、父ジェイコブ役の三田村邦彦、エジプト国王ファラオに扮する橋本良亮(A・B・C・Z)などの新風に期待が募る。そしてやはり、舞台中央に立つ藪・ジョセフをまだまだ見続けたいと思うのだ。幾多の逆境を乗り越えて迎えるハッピーエンド、そこから生まれる明日への勇気をぜひ劇場で受け取ってほしい。

る演出家、ダレン・ヤップの指揮のもとに、ジョセフ役を担う主演の藪宏太(HEY! SEY! JUMP)、物語に誘うナレーター役のシルビア・グラブが人気と実力を兼ね備えたキャストが集結した。しかし準備万端で初日を迎えるようとしていた直前に、コロナ禍により無念にも上演中止が決定。晴れて日本初演の幕が開いたのはその2年後だ。当時の取材で「ずっとこの作品のことを頭の片隅に置きながら生活していた」と語ったのは藪宏太である。「いざれ必ずやる」と皆で決めていたので、時々譜面を見返したりして「いつでも出来るよ!」という状態にしておくことを心掛けていましたね。でも気負い過ぎず、自然体でやるつもりです。それがジョセフのキャラクターでも

岡山芸術創造劇場ハレノワの渡辺弘劇  
場長兼プロデューサーが岡山の芸術文化  
のさまざまな分野で活躍している人た  
ちに、とっておきの話を伺う「ハレノワ  
ダイアログ」。今回は岡山出身で活躍中  
の歌人、大森静佳さんです。

渡辺 高校生の頃から毎週、新聞に短歌を  
投稿されていたとか。大森さんが短歌に惹  
かれたきっかけを教えてください。

大森 高校生の時に国語の便覧で塚本邦雄  
や葛原妙子など、戦後の歌人の作品を読ん  
で、たった31音で幻想的で見えたことのない  
世界を書けることに驚きました。俵万智さ  
んの『サラダ記念日』で、口語で作る短歌  
が流行したので、古典文法を知らなくてい  
いのも魅力的でした。  
小説に比べると短歌や俳句は型があるので  
不自由だと思われるかもしれませんが。でも  
私にとっては、その型が自分の内側にアク  
セスして、言葉や感性を引き出してしてくれ  
ている気がして、型の不自由さにもむしろ自由  
を感じたんです。

渡辺 俳句ではなく、短歌を選んだ理由  
は？

大森 俳句は、五・七・五で世界を瞬間的に  
切り取る面白さがありますが、短歌の場合  
は上の句で世界に開き、下の句で自分の側  
に戻ってくる。私性や未練が出やすい点が

私には合っていたのだと思います。

特に短歌は私性の文学と言われ、「私の視  
点で私を感じたものを書く」という近代以  
降の流れがあります。それを短歌の強みと  
してとらえる人と抵抗する人の応酬で発展  
してきた文学だと感じています。

渡辺 大森さんはどちらの立場なのでしょう  
うか？

大森 私はどちらかというど抵抗したい側  
です。というのも、これまではおもに境涯  
や生活の具体が私性と言われてきたので、  
それを拡張したいという気持ちがありま  
す。幻や無意識も含めて、私性と呼びたい。  
だから演劇や映画など文学以外の作品にも  
触れています。そこで歴史上や架空の女性  
の声と自分が共鳴して、一体何が生まれる  
のかに興味があるんです。

渡辺 演劇といえば、大森さんの第2歌集  
『カミーユ』を拝読して、この歌にしばら



ハレノワ  
ダイアログ

第9回

岡山生まれの歌人の原点と  
31音から広がる世界

【話し手】歌人 大森 静佳  
【聞き手】渡辺 弘



おもしろしずか  
大森 静佳  
1989年岡山市生まれ、19歳まで備中高松で育つ。現在は京都府在住。岡山朝日高校在学中に短歌を作りはじめ、2010年に第56回角川短歌賞を受賞。歌集に『てのひらを燃やす』『カミーユ』『ヘクタール』（第4回塚本邦雄賞受賞）がある。「京大短歌」を経て「塔」短歌会所属。「高校生文芸道場おかやま」短歌部門の講師、「笹井宏之賞」選考委員を務める。Eテレ「NHK短歌」2021年度、2024年度選者。

く呆然としました。

狂うのはいつも水際

蜻蛉来てオフィリア来て秋ははなやぐ

まさか『ハムレット』のオフィリアがこん  
な風に詠まれるとは。演劇は好きなんで  
すか？

大森 そうですね。詳しくはありません  
が、人間の情念にとっても興味があって、同  
じ歌集には『曾根崎心中』を題材にした  
短歌もあります。あとは20代の頃に能面を  
打っていたのと、京都でも能をよく鑑賞し  
ています。

渡辺 いろんな文化・芸術から影響を受け  
ているんですね。大森さんは京都在住です  
が、「魂は岡山にあり」と言われています。  
岡山での原体験になるような思い出はあり  
ますか？

大森 生まれが備中高松なので、実家の裏  
山にある名もなき古墳でよく遊んでいまし  
た。今でも死生観やアニミズムの考え方に  
関心があるのは、この環境があったからか  
もしれません。

中高生のときには、高校の先輩である内田  
百閒や小川洋子さん、またあさのあつこさ

んや金原瑞人さんなど、岡山ゆかりの作家  
の作品に多く触れてきました。講演やサイ  
ン会にも足を運んで、文学の道に進んだお  
話を聞いては、背中を押されていました。

渡辺 今は「高校生文芸道場おかやま」の  
短歌部門で審査員もされていますね。育成や  
普及にも力を入れたいという想いがある？

大森 そうですね。岡山でもらった言葉は  
今も大切にしているんです。少しずつお返し  
できたらいいなと思っています。自主企画  
としては、3か月に1回、岡山駅前誰で  
も参加できる「白桃歌会」を開いています。  
ここでは20代から80代の方が短歌を持ち寄  
り、作者名を隠して品評し合います。必ず  
2次会もあって、その場で仲良くなった人  
たちが同人誌を作ることもあるんです。  
世代を超えて交わる場はいま貴重なので、  
きっかけになるといいなと思っています。

渡辺 僕も今朝、短歌を詠もうとしたけれ  
ど難しくて。初心者でも短歌を作るコツは  
あるのでしょうか？

大森 最初から意味のある言葉を並べると  
標語のようになるので、意味の薄い言葉か  
ら始めるといいかもしれません。例えば「し  
ばらくは」とか「もう少し」というような。

少しずつ感情を出して行って、下の句に気  
持ちのピークがくるのが短歌の伝統的な作  
り方です。小さな視点に五七七七七のリズ  
ムが加わると、自然と感情が膨らんでいく  
ので、内容はむしろささやかな方が短歌に  
合います。

渡辺 大森さんの作品は、目で読むだけで  
なく声に出すと全くちがう表情をみせませ  
よね。

大森 短歌は文学であると同時に音楽でも  
あります。韻律と呼ばれ、その美しさは歌  
会でも評価ポイントになりますね。意味や  
解釈以上に、韻律は大事かもしれません。  
ぜひ同時代の歌集も読みながら楽しんでみ  
てください。

渡辺 2026年はハレノワで文学フェス  
ティバルがありますので、ぜひ朗読や講座  
など、短歌に関連する企画で一緒にでき  
たいですね。

大森 楽しみにしています。

渡辺 本日はありがとうございました。  
(インタビュー…2025年12月21日・吉備  
路文学館にて)

2025年、ジャンルや特徴の異なる4軒の書店が集まる「オモテマチブックスクエア」が表町商店街にオープンした。個性豊かな本、人、文化の交わりを生み出している「街の本屋さん」が、商店街の新たなサードプレイスとして話題を集めている。

「オモテマチブックスクエア」があるのは、デパートや貴金属店などが並ぶ表町商店街の一角。文芸書や実用書が中心の「正夢書房」、絵本や育児、生活に関する本をそろえた「ハーストリー」、歴史やスポーツ、ビジネス書がメインの「ヒズストーリー」、そして芸術専門書とギャラリーを備えた「アジュドル」の4軒が、通りを挟んで軒を連ねる。ジャンルの異なる姉妹店として独立しながらも、緩やかにつながる関係性が好奇心の幅を広げてくれる。各店をハシゴしながら本探しをするのも楽しそうだ。

空き店舗を再生し、「本を通じた文化の力で商店街を盛り上げたい」と企画したのは、時計・宝飾品販売「トミヤコーポレーション」の古市大藏会長。第1号店「正夢書房」の立ち上げから企画運営に関わ



「正夢書房」店長の中谷さん。全店舗の運営総括もつとめる。



「正夢書房」店内。表紙を見せた陳列が多く、本への興味が深まる



「ハーストリー」は2階にカフェを併設。可愛くて種類豊富なドリンクやスイーツが人気

中谷祐太郎さんは、まっさらな箱の状態から書店を創り上げるプロセスそのものに魅力を感じたそう。「1冊ずつ選書して買いつけるセレクト書店として、独自性や専門知識を生かした店づくりをしています。正夢書房では海外文学や詩歌を充実させて、一般書店では出合いにくいマナーな本も扱っています」。

「正夢書房」は元々カバン屋の建物で、深い奥行きや造作棚が書店としての扱いにくさがあった。中谷さんはこれを逆手に取り、平置きを中心にした「ジャケ買い」

「読書会や創作劇、デッサン会などのイベント企画、カフェ営業など、街の人がゆっくり滞在できる仕掛けもあります。本屋らしくないかもしれませんが、遠慮せずふらっと来てほしいですね。お客さまと話すのが大好きですし、喜んでもらえるのが何よりうれしくて」。個性を打ち出しつつ、商店街らしい顔の見える接客、親しみやすさがあるのも魅力。小さな街の書店から、まだ見ぬ新たな世界が広がるかもしれない。



■オモテマチブックスクエア 正夢書房  
岡山市北区表町2-2-57 TEL 086-206-1411  
営業時間▶10:00~19:00  
休業日▶火曜日、他不定休あり  
※「正夢書房」「ハーストリー」「ヒズストーリー」「アジュドル」各店の情報はInstagram (@masayume\_shobo0315) で確認を



©ヒラガナ企画

## イベント開催レポート Event Report

文／吉川幸(岡山大学 公共知共創オフィス 准教授)

### 蜂谷工業presents おかやまインクルーシブフェスティバル2026

●2月11日(水) 中劇場、小劇場

おかやまインクルーシブフェスティバル2026は、2月11日、岡山芸術創造劇場ハレノワを舞台に開催された。核となったのは、「魔法の森のAwardパーティー」と『人生相談天国』の二つのプログラムである。

中劇場で行われた「魔法の森のAwardパーティー」は、魔法使いの姉妹を進行役に、受賞者、審査員、スポンサー企業、出演者など100名を超える人々が舞台上に集う華やかな催しとなった。姉妹の柔らかな語りかけと吟遊詩人の奏でる音色が場に心地よいリズムを生み、会場は終始あたたかな祝祭感に包まれていた。受賞スピーチでは、それぞれの歩みや思いが率直に語られた。客席からは大きな拍手が送られ、ときに笑い声も広がるなど、舞台と客席が一体となる時間となった。

一方、小劇場の『人生相談天国』では、一般公募による演者たちが「役」を通して人生の断片を語った。脚本と即興の境界が見えなくなるほど、出演者はそれぞれの人物像を生き、観客はその物語に静かに耳を傾けた。実在の当

事者としてではなく「役」として語ることで、誰のものでもあり誰のものでもない感情が舞台にあふれ、その曖昧な距離感が観客に考える余白を残していた。

対照的な二つの空間に共通していたのが、ステージ上に設えられた「雲」の存在である。ライトによって色を変える雲は、華やかなパーティーの場面にも、人生を憂う場面にも寄り添うように揺れていた。その姿は、多様な思いや背景をやわらかく受け止める、このフェスティバルの象徴のようにも感じられた。

当日はハレノワの内外でワークショップやマルシェも開かれ、多国籍なランチを楽しむ来場者や作品づくりに没頭する子どもたちの姿が見られた。さらに2月1日からは「はればれステージ」や「街なかアートギャラリー」、表町商店街での「タベストリート」などが展開され、フェスティバルはまちの中にも広がっていた。出会いと対話は今もまちのどこかで静かに続いている。

### 音楽劇「コーカサスの白墨の輪」

果たして、人間は今より「マシ」な存在になれるのか——。  
ベルトルト・ブレヒトによる演劇作品の金字塔を、瀬戸山美咲が「これから」の物語として描き直す。

4月18日(土) 14:00開演・19日(日) 12:30開演 中劇場

原作▶ベルトルト・ブレヒト (東宣出版 酒寄進一訳)  
上演台本・演出▶瀬戸山美咲 音楽監督▶坂井田裕紀  
出演▶木下晴香、平間壮一、sara、加藤梨里香/森尾舞、西尾友樹、武谷公雄、辰巳智秋、齋藤瑠希、大久保祥太郎、阿岐之将一、酒巻誉洋、浜野まどか/一路真輝、眞島秀和  
料金▶全席指定 一般 8,000円/U24 5,000円 **チケット好評発売中!** ①18日(土)終演後ポストトークあり



撮影：皆川聡

### 「老いと演劇」OiBokkeShi

#### 『父帰るハウス』

100歳を目前に、介護を要しながらも舞台上に立ち続ける岡田忠雄 (通称おかじい) が、  
コロナ禍を経た社会に演劇の力で問いかける。

5月5日(火祝)・6日(水休) 両日14:00開演 小劇場

作・演出▶菅原直樹 出演▶岡田忠雄 ほか  
料金▶全席自由 一般 3,000円/U24 2,000円/U18 1,000円  
お問合せ▶一般社団法人ベンチ TEL 050-5369-5637



撮影：hi foo farm

#### 『舞台はいのち! ~おかじい100歳を祝う会~』

OiBokkeShiの看板俳優・おかじいの100歳を祝い、  
おかじいにゆかりのある人々がお祝いメッセージを贈る“バースデイ劇”。

5月17日(日) 14:00開演 アートサロン

出演▶岡田忠雄、菅原直樹 ほか 料金▶無料



撮影：hi foo farm

### Song & Dance 魔法と夢の街 ミュージカルコンサートII

熊本亜記ら劇団四季出身メンバーほか、オーディションで選ばれた市民、IPUダンス部、  
地域のゴスペル合唱団ら総勢120人が贈る夢のミュージカルコンサート。

5月17日(日) 13:00開演/17:30開演 中劇場

構成・演出▶今川誠 振付▶はやみ甲、NARUMI、SYOJI 音楽▶熊本亜記 歌唱指導▶西井愛美  
料金▶指定席 5,500円/自由席 4,500円 **チケット好評発売中!**  
お問合せ▶OMA事務局 TEL 086-232-2515



### パルコ・プロデュース2026

#### ル・コント『この世界に19文字の文章など存在しない』

コント作家・演出家の小林賢太郎とパルコが初タッグ!「矛盾」をキーワードに、  
音楽・映像・身体表現、そして笑いが融合した「コンテンポラリー・コント」を創作。

6月25日(土) 19:00開演 中劇場

脚本・総合演出▶小林賢太郎 出演▶野間口徹、なだぎ武、竹井亮介、うらじぬの、平原慎太郎  
料金▶全席指定 一般 8,500円/U24 5,000円 **チケット好評発売中!**



### 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd Vol.3 『リア王』

シェイクスピアの最高傑作とも評される四大悲劇の一つを、長塚圭史が演出を手がける。  
シリーズに刻む新たな歴史が幕を開ける。

6月25日(土) 14:00開演・26日(日) 12:30開演/18:00開演・27日(月) 13:30開演 大劇場

作▶W.シェイクスピア 翻訳▶小田島雄志 演出▶長塚圭史  
出演▶吉田鋼太郎、石原さとみ、松岡依都美、矢崎広、吉田美月喜、山内圭哉、山西惇、藤原竜也 ほか  
料金▶全席指定 S席 12,000円/A席 10,000円/B席 8,000円/U24 (B席のみ) 3,000円 **チケット好評発売中!**



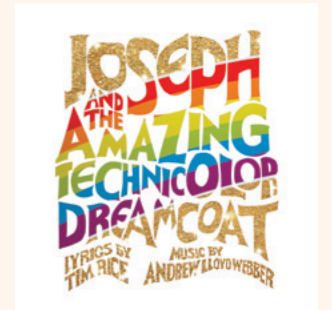
### ミュージカル

#### 『ジョセフ・アンド・アメージング・テクニカラー・ドリームコート』

巨匠アンドリュー・ロイド＝ウェバー伝説の処女作、待望の再演!  
パワフルでカラフルな希望あふれるミュージカルが帰ってくる!

7月4日(土) 17:30開演・5日(日) 14:00開演 大劇場

作詞▶ティム・ライス 作曲▶アンドリュー・ロイド＝ウェバー 演出▶ダレン・ヤップ  
出演▶藪宏太、シルビア・グラブ/清水美依紗【Wキャスト】、橋本良亮 ほか  
料金▶全席指定 SS席 14,000円/S席 12,000円/A席 10,000円 **チケット発売▶4月19日(日)**



### ジャン・レノ ソロパフォーマンス『らくだ』

映画『レオン』で世界を魅了した名優ジャン・レノ。  
その成功の裏側に秘められた、語られざる真実が——  
いま、舞台芸術として昇華される。

7月18日(土)・19日(日) 両日14:00開演 中劇場

作▶ジャン・レノ 演出▶ラディスラス・ショラー  
出演▶ジャン・レノ ピアニスト▶パブロ・ランティ  
料金▶全席指定 S席 10,000円/A席 7,000円/U24 (A席、各回30席限定) 4,000円 **チケット発売▶4月12日(日)**  
①フランス語上演・日本語字幕



### 虹のかけら～もうひとりのジュディ

女優、声優と幅広いジャンルで活躍する実力派・戸田恵子と  
戸田の魅力をよく知る演出家・三谷幸喜の強力なタッグで贈る、  
ジュディ・ガーランドと知られざるジュディ・シルバーマンの物語。

7月22日(水) 18:30開演 中劇場

構成・演出▶三谷幸喜 音楽監督▶荻野清子 振付・ステージング▶本間憲一  
出演▶戸田恵子 演奏▶荻野清子 (ピアノ)、BUN Imai (ドラム)、鈴木陽子 (ベース)  
料金▶全席指定 7,800円 **チケット発売▶4月11日(土)**  
お問合せ▶OHK岡山放送マーケティング戦略部 TEL 086-941-8882



※掲載内容は2026年3月18日時点の情報です。今後公演内容や出演者等に変更が生じる場合がございます。 ※チケットの販売状況によって、完売もしくは残り僅か場合がございます。

チケットの  
ご予約・ご購入

窓口|お電話



岡山芸術創造劇場ボックスオフィス TEL 086-201-2200

受付時間/10:00~18:00 (休館日を除く) ※詳細はホームページにて

岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL 086-234-2010

受付時間/10:00~18:00 (休業日を除く) ※詳細はホームページにて

※岡山シンフォニーホールは改修中のため休館中ですが、チケットセンターは引き続き営業しております。

インターネット  
[24時間受付]



岡山芸術創造劇場/  
岡山シンフォニーホール  
オンラインチケット

<https://piagettii.s2.e-get.jp/ocaticket/pt/>



その他  
プレイガイド

イープラス [eplus.jp](https://eplus.jp/)/ファミリーマート  
チケットぴあ <https://t.pia.jp/>  
ローソンチケット <https://l-tike.com/>  
ぎんざプレイガイド TEL 086-222-3244

※公演によって取扱いが異なります。詳しくは各公演の情報をご確認ください。

CHECK IT OUT !

## おかやま文化芸術振興事業

### ともとのガラクタ音楽会

がらくたに命を吹き込む打楽器奏者・ともともこと、  
山口ともによる音楽会。

5月9日(土) 14:30開演 小劇場

出演▶山口とも

料金▶全席自由 一般 1,000円／高校生以下 無料  
※未就学児のひざ上鑑賞は保護者1名につき、  
お子様1名まで可。  
座席が必要な場合は高校生以下無料にて  
ご予約ください。

チケット発売▶4月10日(金)



読者アンケートにご協力ください!

今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

\* 回答者全員に限定ハレノワオリジナル壁紙をプレゼント!



回答はこちらから



ハレノワ通信 [WA] VOL.12 2026年4月1日 発行

編集人 渡辺弘

〒700-0822 岡山市北区表町3-11-50

代表 TEL 086-201-8000

発行 公益財団法人岡山文化芸術創造  
岡山芸術創造劇場

ボックスオフィス TEL 086-201-2200 (10:00~18:00)

https://okayama-pat.jp/

制作・印刷 株式会社中野コロタイプ

編集協力 株式会社吉備人

記事・画像の転載・複写を禁止します。



お客様用の駐車場はございません \*近隣のコインパーキングや公共交通機関をご利用ください。

\*歩行困難者用の駐車区画あり。また、タクシーの降車と福祉車両の乗り入れが可能です。  
詳しくは施設担当 (086-201-8016) までお問合せください。

ハレノワ・メンバーズ登録受付中!

登録・  
年会費  
無料!

【特典1】いち早くチケットを購入できる

【特典2】インターネットから座席を選んでチケットが購入できる

【特典3】お得な情報をご案内

ご希望の方には公演情報や先行発売などのお知らせを  
メールマガジンにてお送りいたします。

詳しくはこちら <https://okayama-pat.jp/member>



ハレノワの  
最新情報はこちら



Instagram



X



公式サイト



JR岡山駅からのアクセス【JR岡山駅より路面電車】  
東山行▶「西大寺町・ハレノワまえ」下車 徒歩約5分  
清輝橋行▶「大雲寺前」下車 徒歩約5分

岡山芸術創造劇場  
ハレノワ